

相談室だより

第 | 0 号 令和7年 | 1 月 2 | 日発行

宇都宮市立陽北中学校 教育相談部

「相談室だより」は、本校のホームページからご覧になれます。 携帯電話・スマートフォンから、QRコードを読み取ってご覧ください。



『ヤングケアラー』って知っていますか?

みなさんは「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか? ヤングケアラーとは、家族の世話や介護を日常的にしている子どもや若者のことをいいます。最近、ニュースや本でも取り上げられることが増えてきましたが、まだ知らない人も多いかもしれません。

たとえば、こんな場面を思い浮かべてみてください。

- めんと
- ・小さいきょうだいの面倒を毎日みている
- ・病気や障がいのある家族の介護をしている
- ・家事をほとんど自分がやっている



こうしたことが続くと、勉強の時間が減ったり、友だちと遊ぶ時間がなくなったり、心や体がとても疲れてしまうことがあります。もちろん、家族を助けることはとても大切で立派なことです。でも、それが毎日の生活に大きな負担となってしまうと、本人の成長や楽しみを奪ってしまうこともあるのです。

★ヤングケアラーの現状★

日本では、中高生の約 | 7人に | 人がヤングケアラーにあたると言われています。クラスの中にも、もしかしたら「自分もそうかも」と感じている人がいるかもしれません。けれども、本人が「自分はヤングケアラーだ」と気づいていないことも多いのです。

「家族のためにやるのは当たり前」 「みんなも同じようにしているはず」

そんなふうに思って、誰にも話さずにがんばり続けてしまう人もいます。でも、実はそれがとても 大きな負担になっていることもあるのです。

★もしも「自分もそうかも」と思ったら…★

まず伝えたいのは、それは決して「弱いこと」や「恥ずかしいこと」ではないということです。あなたのがんばりはとても大切で、すごいことです。けれども、一人で抱え込む必要はありません。

相談することは、勇気がいるかもしれません。でもそれは「助けて」と言うことではなく、「自分の気持ちを伝える」ことです。誰かに話すことで、少し心が軽くなることもあります。

★学校でできること★

学校には、先生や相談室の先生がいます。もし「ちょっとしんどいな…」と思ったら、まずは話してみてください。大きなことじゃなくてもいいんです。

「最近、疲れやすい」「勉強に集中できない」「家のことで時間がなくて困っている」

そんな小さなことでも、相談室は聞いてくれます。話すことで、解決のヒントが見つかるかもしれません。

★地域にも支援があります★

学校だけでなく、地域にも相談できる窓口があります。市役所やヤングケアラーLINE相談など、専門の人が話を聞いてくれる場所があります。もし学校で話すのが難しいと感じたら、地域の窓口を利用することもできます。

★相談室からのメッセージ★

あなたの気持ちを聞かせてください。小さなことでもかまいません。「ちょっとしんどいな…」と思ったら、いつでも相談室に来てくださいね。

あなたががんばっていることは、誰かに伝えていいことで す。そして、相談することは「強さのひとつ」です。



★最後に…★

ヤングケアラーという言葉を初めて知った人もいると思います。もしかしたら「自分もそうかも」 と思った人もいるかもしれません。もしそうなら、まずは一歩、誰かに話してみてください。

あなたのがんばりはとても大切です。けれども、あなた自身の時間や気持ちも同じくらい大切です。 相談室は、みなさんが安心して過ごせるように、いつでも待っています。

→保健室・相談室前にもポスターが掲示してありますので、見て下さいね。

